

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー【2017No.80】(HP 掲載)

分類：BD-ROM(11.2MHz DSD)

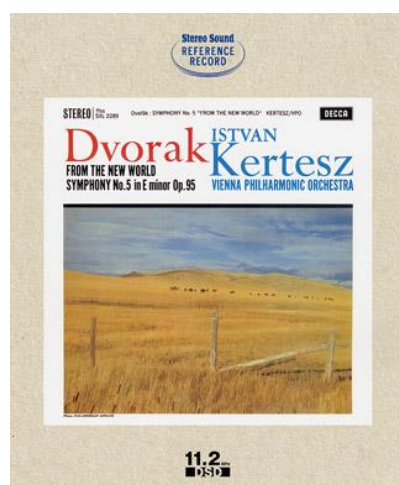
作曲家：アントニン・ドヴォルザーク

曲名：交響曲第 9 番ホ短調新世界より》

演奏：イシュトヴァン・ケルテス指揮ウィーンフィルハーモニー管弦楽団

発売：ステレオサウンド社

No.：SSHRB-002



---

ドヴォルザーク:交響曲第九番「新世界より」

---

ケルテスの気迫に圧倒される名盤

ハンガリー生まれの指揮者イシュトヴァン・ケルテスが 1961 年ウィーン・フィルと初めて録音した歴史的・名演奏・名録音である。ケルテスのこの録音にかけた情熱が聴く者を圧倒する。その気迫は冒頭のティンパニの強打に象徴されていて、まるで指揮台の上で聴いているような錯覚におちいる快感がある。

#### 収録曲

アントニン・ドヴォルザーク

Antonin Dvořák

交響曲 第 9 番 ホ短調 作品 95 《新世界より》

Symphony No.9 in E minor, Op.95 "From the New World"

1. 第 1 楽章:Aadagio - Allegro molto

[9:52]

2. 第2楽章:Largo [11:51]
3. 第3楽章:Scherzo (Molto vivace)  
[7:39]
4. 第4楽章:Allegro con fuoco  
[11:09]

ウィーンフィルハーモニー管弦楽団

**Wiener Philharmoniker**

指揮:イシュトヴァン・ケルテス

**Conductor:István Kertész**

録音:1961年3月22~24日 ウィーン、ソフィエンザール

**Recording: Sofiensaal, Vienna, 22-24 March 1961**

**Recording producer: Ray Minshull**

**Recording engineer: James Brown**

言わずと知れた名盤のハイレゾ音源化です。同じマスターの SACD/CD のセットも購入していますが、やはり 11.2MHzDSD の威力は素晴らしいものがあります。上記解説にケルテスの情熱が聴く者を圧倒するとありますが、11.2MHzDSD になってスピード感、色彩感、指揮者の気迫溢れるダイナミズムと抒情性など、何をとってもそれが分かるような気がします。

以上